

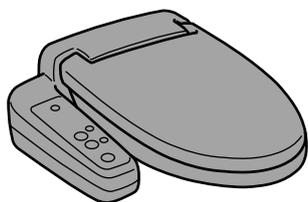
# Shower toilet

## 施工説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

## シャワートイレ UH シリーズ

CW-UH12-NE 型 ・ CW-UH11-NE 型



### 注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

### 施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録の  
願いをお渡しください。

保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話  
番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録の願いは、製品本体に張り付  
けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、  
所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要  
となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ず  
お伝えください。

### もくじ

安全のために守ってください	1
施工前のご注意	3
施工時のご注意	6
施工後のご注意	6
各部のなまえ	7
準備工具	7
部品の確認	8
仕様	9
取付完了図	10
施工手順	11
試運転	21
施工後の確認	23

# 安全のために守ってください

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。  
シャワートイレの施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

## 用語および記号の説明

**警告** . . . . . 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

**注意** . . . . . 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

 . . . . . 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

 . . . . . この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。  
禁止

 . . . . . この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。  
指示実行

安全のために守ってください

## 警告

施工説明書に従い、正しく施工してください。  
※感電・火災・ケガの原因になります。  
※漏水し、室内浸水の原因になります。



電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が正しく施工してください。  
※感電・火災の恐れがあります。



修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。  
※感電・火災・ケガの原因になります。



確実にアースを接続してください。  
※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。  
※アースの接続は、電気工事店にご相談ください。



## 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。



水かけ禁止

電源コードをステップル等で固定しないでください。

※ 被覆を傷め、感電・火災の原因となります。



禁止

水道水以外に接続しないでください。

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。



禁止

交流 100V 以外では使用しないでください。

※ 火災の原因になります。



禁止

ぬれた手で、漏電遮断器を「入」「切」しないでください。

※ 感電の原因になります。



ぬれ手禁止

漏電遮断器を確実に取り付けてください。

※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。  
※ 漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。



指示実行

電源線・アース線やリモコンコードの配線は、照明器具や暖房機等の熱器具から離してください。

※ 器具の熱で配線が溶断し、火災・漏電の原因になります。



指示実行

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



禁止

機器用配線および屋内配線の電線相互の接続は、確実に行ってください。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。



指示実行

電源線・アース線・スイッチ配線および電気機器配線の結線部は、必ずジョイントボックス内におさめてください。

※ ほこり等により火災の原因になります。



指示実行

## 注意

製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを完全に洗い流してください。

※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

分岐栓（止水栓）の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

施工が完了するまで、電源を入れないでください。

※ 焼損し、室内漏水の原因になります。



禁止

● ストレーナーを外すときは、必ず分岐栓（止水栓）を閉めてください。

● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

● ゴミが O リングに付着した状態で取り付けしないでください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



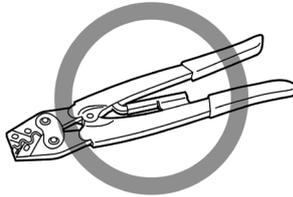
指示実行

安全のために守ってください

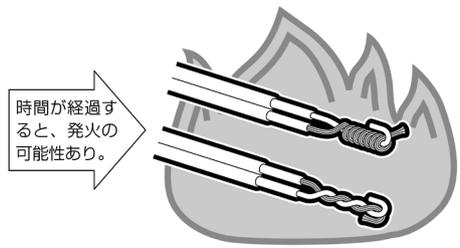
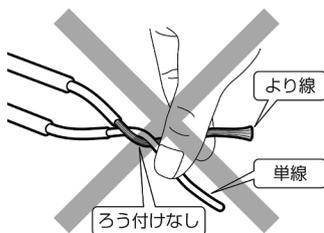
# 施工前のご注意

## ■電源・電気配線について

- 取り付けるユニットバスに換気扇が付いていることを確認してください。  
※ 換気扇が付いていないユニットバスに、このシャワートイレを取り付けることはできません。
- 電源は AC（交流）100V、最大定格 157W に適した電気配線をしてください。
- 電源コードの長さは 5.3m ですので、電源コードがジョイントボックスに届き、水のかからない床面より高い位置に電源プレートを設置してください。
- 必ずアース接続は、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。
- 必ず漏電遮断器を設置してください。  
シャワートイレの電源には漏電遮断器が必要です。家屋に漏電遮断器がない場合、必ず最大定格を考慮した最適な漏電遮断器（高速・高感度型〔感度電流 15mA 以下、動作時間 0.1 秒以内〕）を設置してください。
- 電線接続に、電源端子台や差込形コネクタを用いる場合、より線のまま使用せずに端子台やコネクタに対応した仕様の電線を使用してください。より線（VCT）電線は、絶縁被覆付棒端子を取付けて電源端子台や差込形コネクタに接続する方法を推奨します。  
電線に単線を用いる場合、電源端子台や差込形コネクタの仕様に合わせて電線被膜を所定の長さにむいてください。  
接続する際には、端末先端を被覆部が隠れるよう端子穴の奥まで必ず差し込んでください。また、確実に接続しているか、必ず 1 本ずつ引っ張って確認してください。  
※ 差し込み不十分な場合、接続部が過熱する恐れがあり、焼損や火災の原因になります。
- 単線と単線、単線とより線、より線とより線の場合、接続する各々の電線に適合した裸圧着スリーブを用いて、規定の圧着工具で確実に接続し、適切な絶縁処理を行ってください。



- 単線と単線、単線とより線、より線とより線の直接接続（ねじり接続等）で、ろう付け（ハンダ付け）をしない接続は不適切な接続であり、絶対に行わないでください。  
※ 発火による、火災の原因となります。
- 絶縁被覆付閉端接続子による接続も絶対に行わないでください。  
※ 発火による、火災の原因となります。



## ■寒冷地について

このシャワートイレは寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れがある場合や場所（地域）には、絶対に取り付けしないでください。

※ 接続銅管やシャワートイレ本体内の水を完全に抜くことができないため、凍結破損を起こします。

## ■給水条件について

- 給水は必ず上水道に接続してください。

中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。

- 給水圧力は 0.059MPa {0.6kgf/cm<sup>2</sup>} 以上必要です。

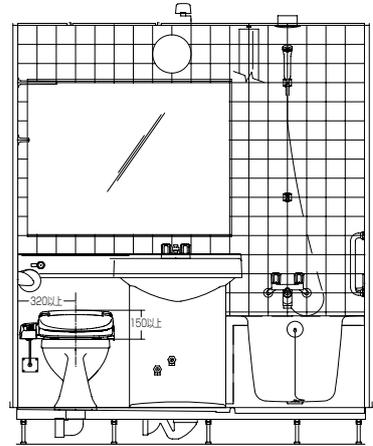
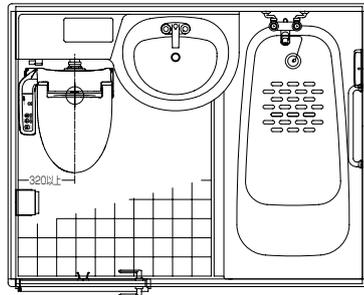
0.059MPa {0.6kgf/cm<sup>2</sup>} 以下では満足なシャワーが得られません。このような場合は、お求めの取扱店にご相談ください。

## ■取付スペースについて

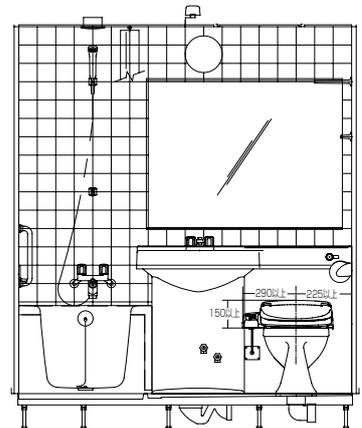
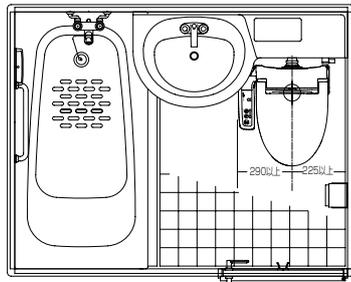
- シャワートイレを便器に取り付けるには下図の寸法が必要になります。十分なスペースと、障害物がないことを確認してください。

※最終確認として、チェックシート（品番：セ - CW203-4）を使用することをお勧めします。

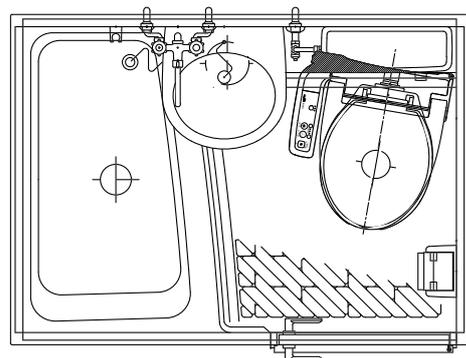
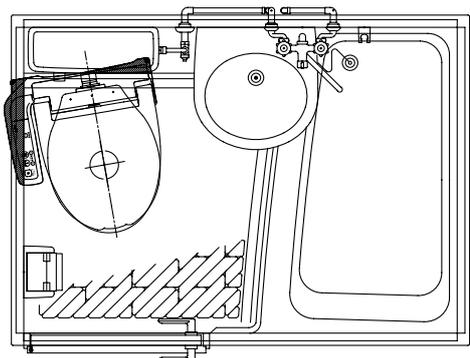
便器が左側にある場合



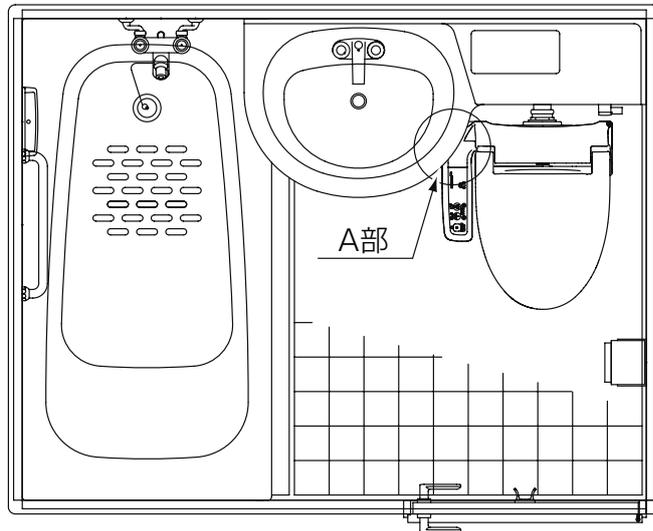
便器が右側にある場合



- 下図のように便器がユニットに対して斜めに取り付けられている場合は、シャワートイレが壁やロータンク、カウンター等に当たって取り付けることはできません。

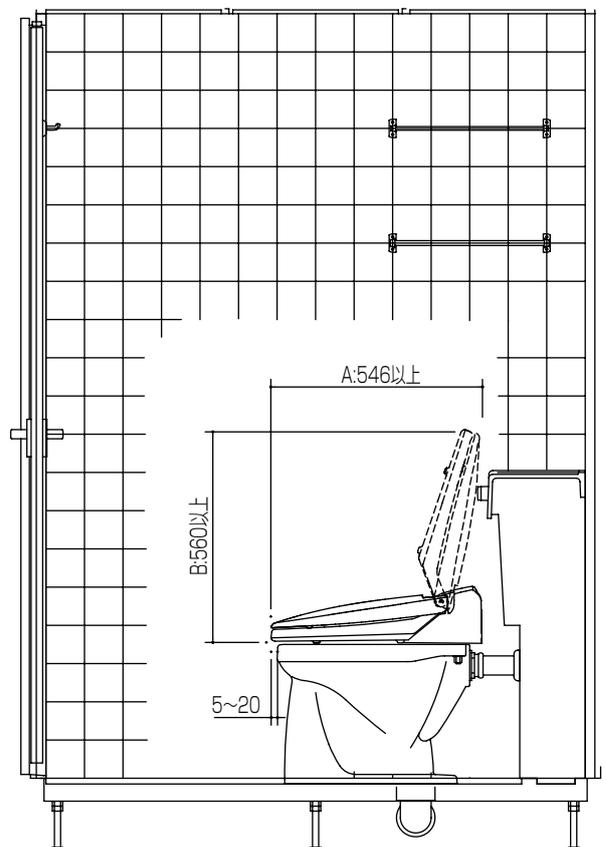


- 下図のような場合（BLCP-1418,1218等）、カウンターが操作部に近いため（A部）、操作がしにくくなります。  
あらかじめ、ご了承ください。



施工前のご注意

- 右図のA・Bどちらかの寸法が満たされない場合は、取り付け際に便フタがカウンター等に当たって便座・便フタが自立しません。このような場合、シャワートイレの便座先端と便器先端の差が目安として5～20mmの間で調整してください。それでも寸法が満たされないときは、便器の位置をずらす等の処理をお願いします。



# 施工時のご注意

## ■電源は入れないでください。

電源は施工が完了するまで入れないでください。

## ■接続銅管を切断したら、切粉を取り除いてください。

接続銅管を切断したら、必ず水洗いなどで切粉を取り除いてから接続してください。

※ 故障の原因となることがあります。

# 施工後のご注意

## ■試運転を行ってください。

脱臭付の場合は着座センサーが紙で覆われていることを確認してください。

※ 紙が貼っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。

着座センサー窓を覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。

人が便座に座ったことを感知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭は、便座に触れていないと作動しません。

## ■水抜きをしてください。

施工後、長期間使用しない場合は水抜きを行ってください。(23 ページ参照)

※ 温水タンク内の水が汚れたり、冬期には凍結して故障する恐れがあります。

## ■使用方法ラベルを貼ってください。

使用方法ラベルはお客様の要望を確認してから、指定の位置に張ってください。

## ■本体を保護してください。

ユニットバスの工事が完了するまで、キズが付かないように、梱包内のビニールシートを用いて本体をカバーしてください。

## ■説明書類をお渡しください。

商品に同梱されている施工説明書と取扱説明書等は工事終了後、必ず管理者側（ホテル等）またはお客様にお渡しください。

### 施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録の願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。

なお、保証書・所有者登録の願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客様に必ずお伝えください。

※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

# 各部のなまえ

■施工が完了したときの一例です。※便器や止水栓、接続銅管などの形状が異なる場合があります。

各部のなまえ・準備工具



※ CW-UH12 の場合のみ

# 準備工具

ドライバー (⊕, ⊖)

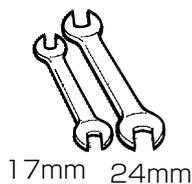
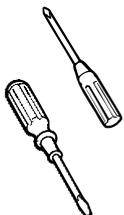
スパナ類

モンキーレンチ

パイプカッター

ドリル (ホルソー)

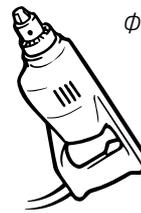
ハンマー



17mm 24mm



17mm ~ 24mm 対応

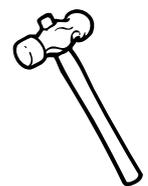


φ 10



φ 5

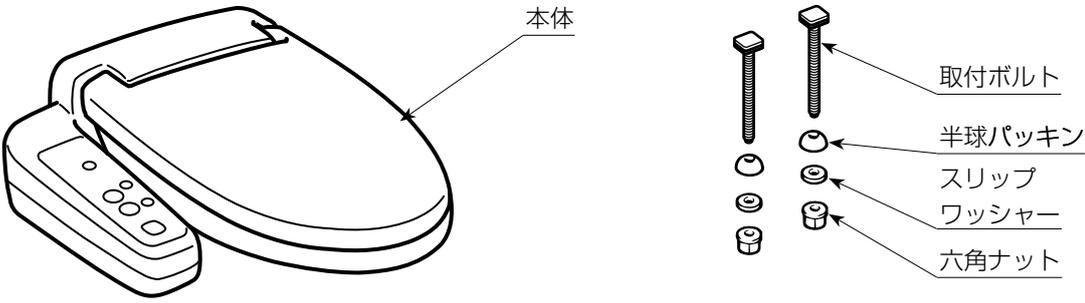
または φ 2.8



φ 50 ~ φ 30

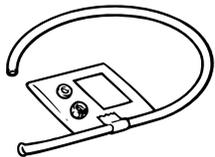
# 部品の確認

## ■梱包部品

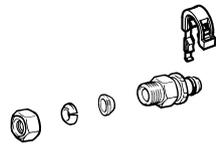


**接続銅管セット**

- 接続銅管 (L = 1350mm) (1本)
- 袋ナット (1個)
- パッキン (1個)



**アダプター**

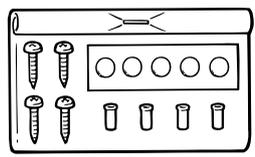


**電源プレートセット**

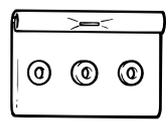


**電源プレート用ねじセット**

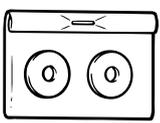
- 固定用ねじ (4本)
- プラスチックアンカー (4個)
- シール (5枚)



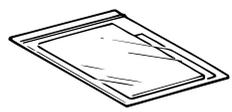
**パッキンセット (3個)**



**化粧リング (2個)**



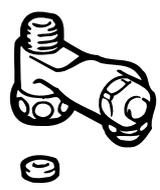
**説明書セット**



※ 脱臭付の場合、脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

## ■別売部品

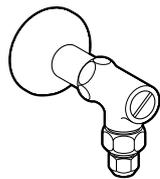
**分岐栓**  
(止水部付C F -004)



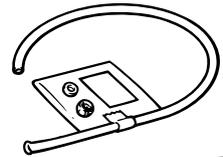
**分岐金具**  
(止水部無C F -008)



**専用止水栓**  
(C F -93)



**接続銅管 (300-115(2000))**  
梱包された接続銅管の長さが足りない場合に使用します。



2m

# 仕様

タイプ	CW-UH12-NE 型 脱臭付	CW-UH11-NE 型 脱臭無	
給水方式	水道直結式		
使用水道圧範囲	0.06 ~ 0.74MPa {0.6 ~ 7.5kgf/cm <sup>2</sup> }		
最大定格	AC100V 157W 50/60Hz		
商品寸法	幅 491 × 奥行 547 (大型共用) × 高さ 150mm		
商品質量	約 4.0 kg		
おしり・ビデ洗浄	温水タンク・貯湯量	貯湯式・0.88L (※ 2003 年新基準による貯湯量)	
	ノズル	おしり・ビデ専用オートスライド式	
	ノズル穴	おしり用：φ 1.3 × 2ヶ ビデ用：φ 0.9 × 10ヶ	
	おしり洗浄吐水量	0 ~ 0.9L/分 (3段階調節)	
	ビデ洗浄吐水量	0 ~ 0.9L/分 (3段階調節)	
	温水ヒーター容量	150W	
	温水タンク内制御温度	約 38℃	
	安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空ダキ検知回路	
便座	ヒーター容量	49W	
	表面温度	切 (室温)・低 (28℃)・高 (36℃)	
	温度調節	3段階切替 (マイコン制御)	
	安全装置	温度ヒューズ	
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	—
	脱臭能力	0.11m <sup>3</sup> /分	—
	脱臭カートリッジ寿命	約 7年	—
節電機能	スーパー節電	—	
電源コード	有効長さ 5.3m		
使用温度範囲	0 ~ 40℃		
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>●着座センサー (UH12 のみ)</li> <li>●便座・便フタスローダウン</li> <li>●便フタワンタッチ着脱機構</li> <li>●サイドライン便座 (大型共用)</li> </ul>		

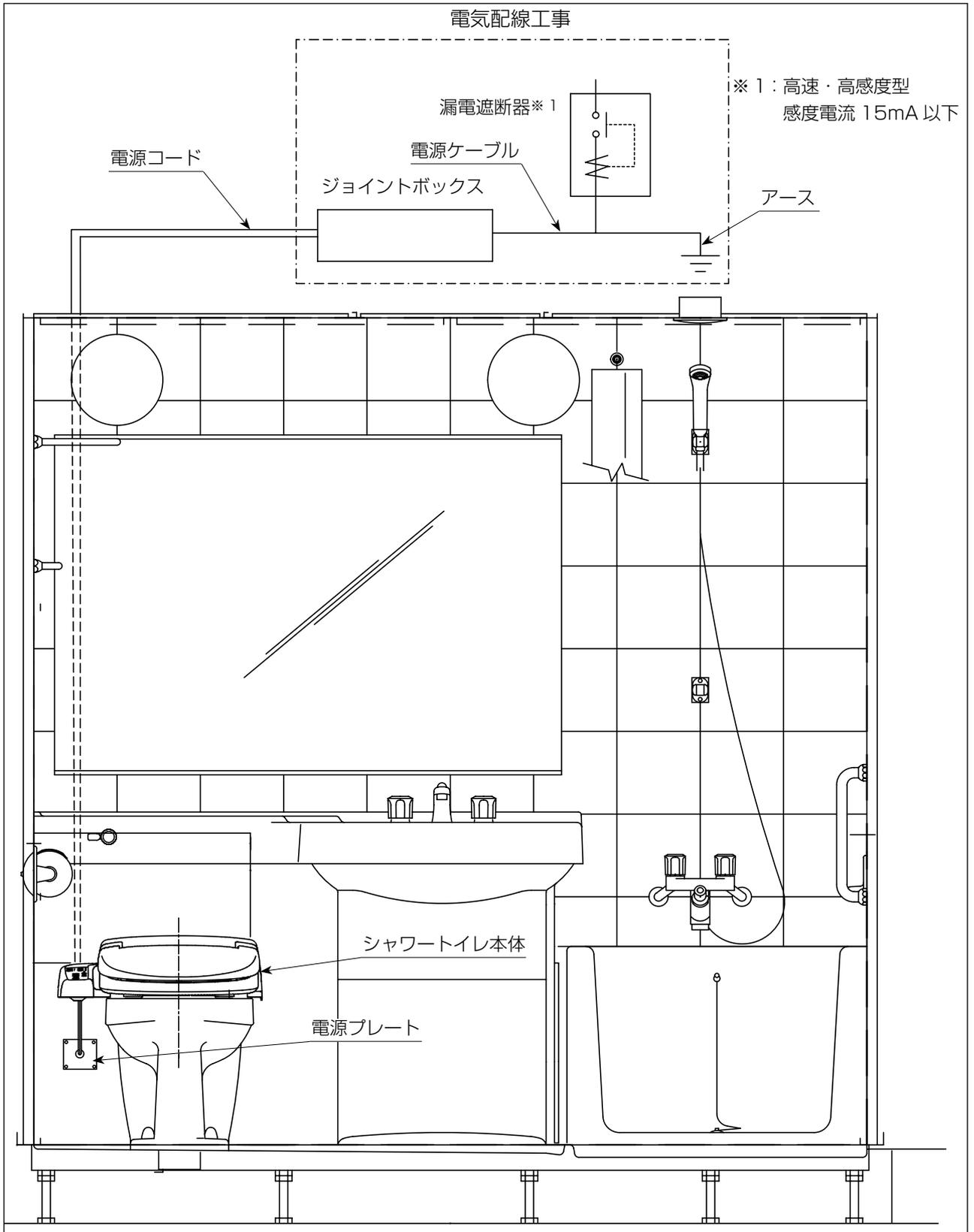
**注意** この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

# 取付完了図

〈フルエプロンの場合〉

旧品番	新品番
BLCP-1420TAG2 + L	BLCP-1420TAWB + L

内は現場での手配となります。



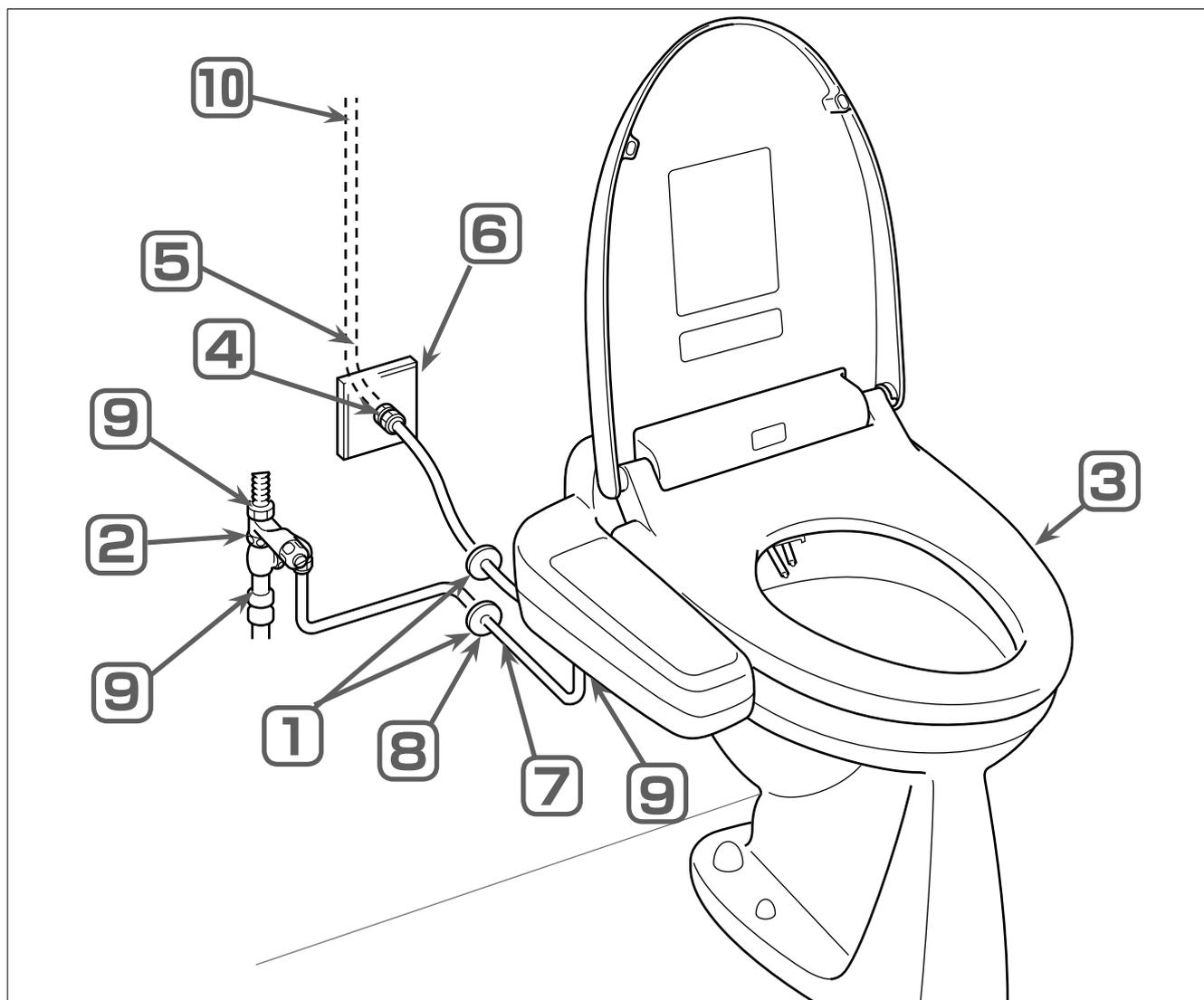
取付完了図

# 施工手順

## ■施工の流れ



※ 1：電源コードの接続は電気工事店に依頼してください。  
また、施工が完了するまで電源は入れないでください。



## 《施工完了図例》

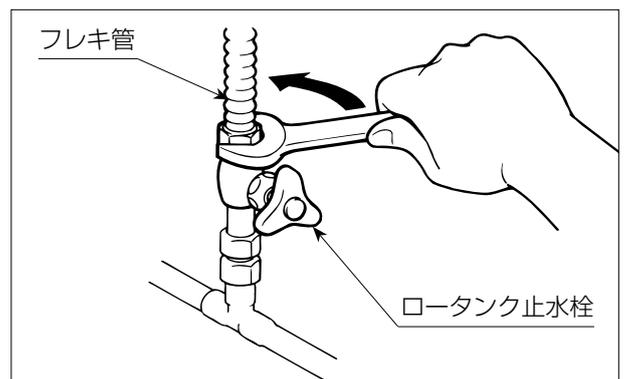
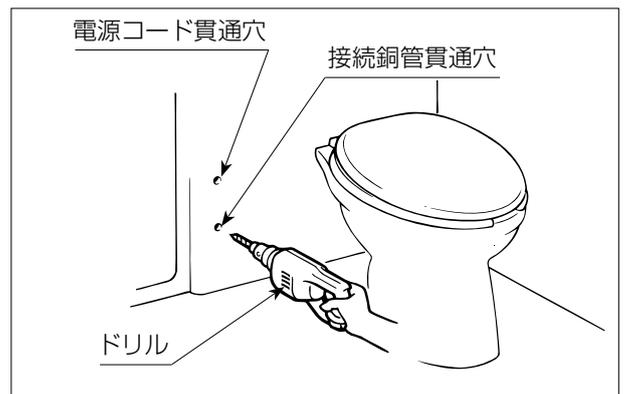
※ ユニットバスによって分岐栓（止水栓）が露出している場合と、カウンター点検口内に設置されている場合があります。



## 1 エプロンの穴開け (カウンターエプロンがある場合)

- (1) エプロンの点検口を外します。  
※ 点検口の開け方は、各ユニットバスの取扱説明書をご覧ください。
- (2) エプロンにドリル (φ 10) で、接続銅管と電源コード貫通用の穴をあけます。

- 注意**
- 穴あけ位置は、壁裏配管や補強材の位置を確認して、現場にて調整してください。
  - あけた穴に切粉が残らないように、きれいに掃除してください。

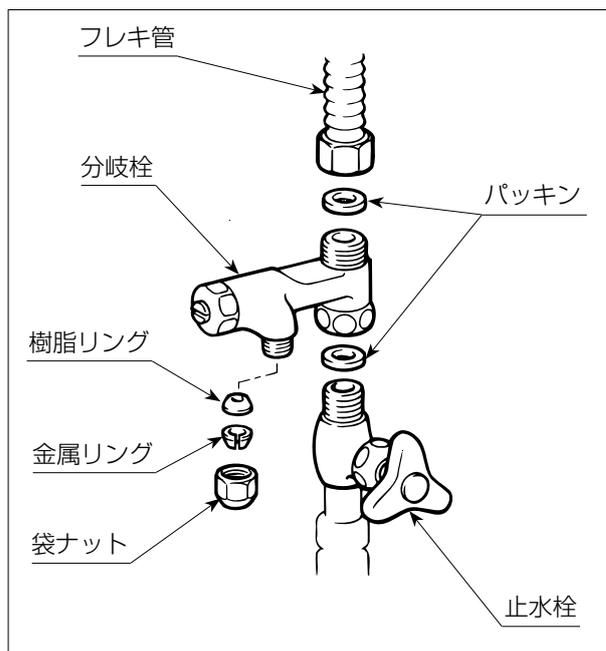


## 2 分岐栓の取付け

- (1) ロータンク止水栓を閉めます。
- (2) 止水栓からフレキ管を取り外します。

- (3) 止水栓に分岐栓を取り付けます。  
 ※ 接続銅管を取り付ける分岐栓の袋ナットを外しておくと、取付けが容易になります。
- (4) 分岐栓にフレキ管を取り付けます。

- 注意**
- 必ず、付属の新しいパッキンを使用してください。
  - 専用接続口があって、専用止水栓を取り付ける場合は専用止水栓に同梱の取付説明書をご覧ください。

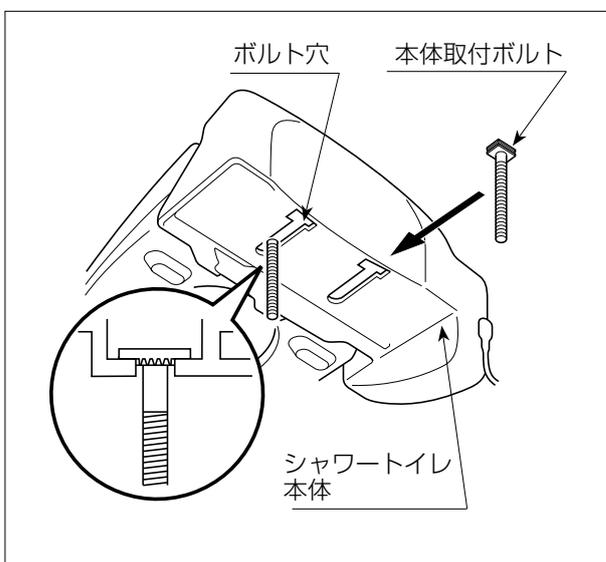


### 3 シャワートイレ本体の取付け

- (1) 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外します。
- (2) 既存便座を持ち上げて、便座取付ボルトごと取り外します。



- (3) 本体取付ボルトを本体底部のボルト穴にはめ込みます。

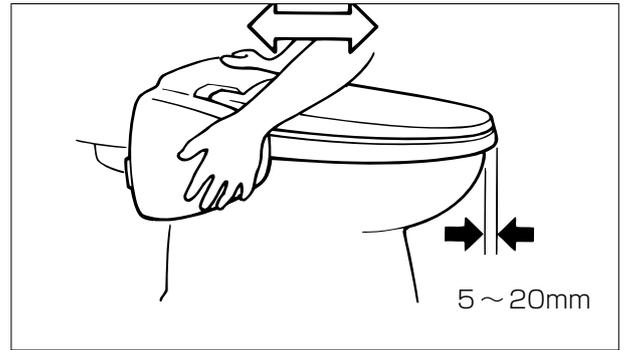


#### ⚠ 注意

施工が完了するまで、電源を入れないでください。  
 ※ 焼損し、室内漏水の原因になります。



- (4) 便器の便座取付穴に本体取付ボルトを差し込んで、本体を設置します。
- (5) 便座の先端が便器の先端より目安として5～20mm出るように前後の位置調節をします。  
動かしにくい場合は、本体を左右にずらしながらゆっくり前後させてください。



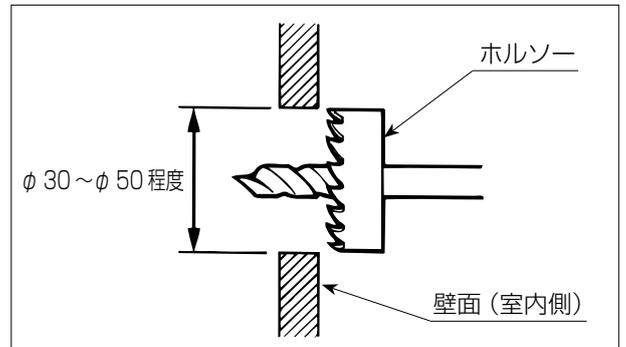
- (6) シャワートイレ本体を固定します。
- 取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通してナットを取り付け、本体がガタつかないよう確実に固定します。  
(締付トルク 2.0～2.5N・m {20～25kgf・cm})



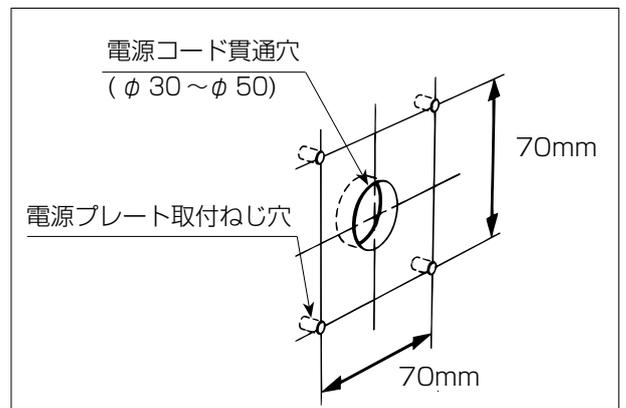
## 4 壁面の穴あけ

- (1) 壁面にホルソー(φ30～φ50程度)で、電源コード貫通用の穴をあけます。

**注意** 穴あけ位置は、壁裏配管や補強材の位置を確認して、現場にて調整してください。

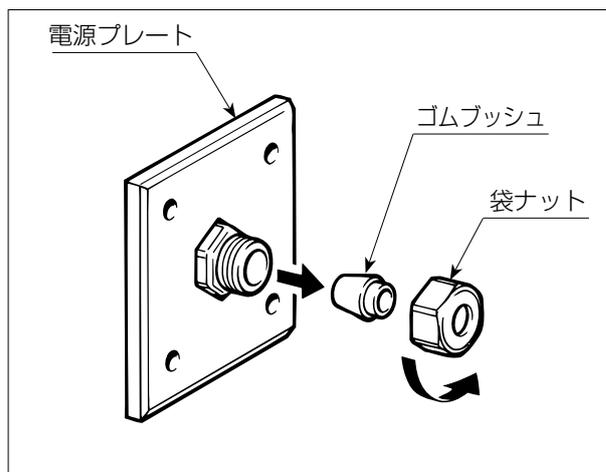


- (2) 電源プレートを壁面に当て、取付穴位置をけがきます。
- (3) 取付ねじ穴位置にドリルで下穴をあけます。
- タイル壁等プラスチックアンカーが必要な場合 : 下穴φ5  
化粧鋼板等プラスチックアンカーが必要な場合 : 下穴φ2.8



## 5 電源コードの切断

(1) 電源プレートから袋ナットとゴムブッシュを外します。



(2) 本体の電源コードをエプロンの貫通穴に通してから、袋ナット・ゴムブッシュ・電源プレートの順で通します。

**注意** ゴムブッシュの取り付け向きを間違えないでください。



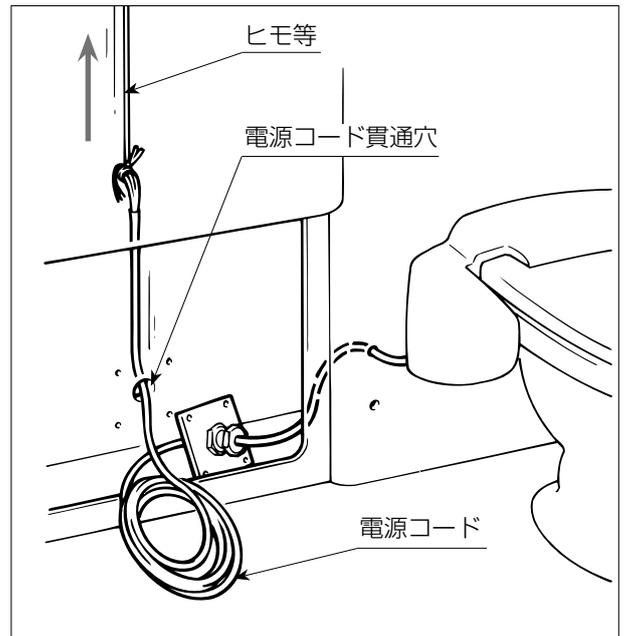
- (3) 天井点検口を開け、電源コードを天井裏のジョイントボックスまで引き上げます。  
 ※ジョイントボックス、漏電遮断器は別途工事にてお願いします。

**警告**

電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が正しく施工してください。  
 ※感電・火災の恐れがあります。



指示実行



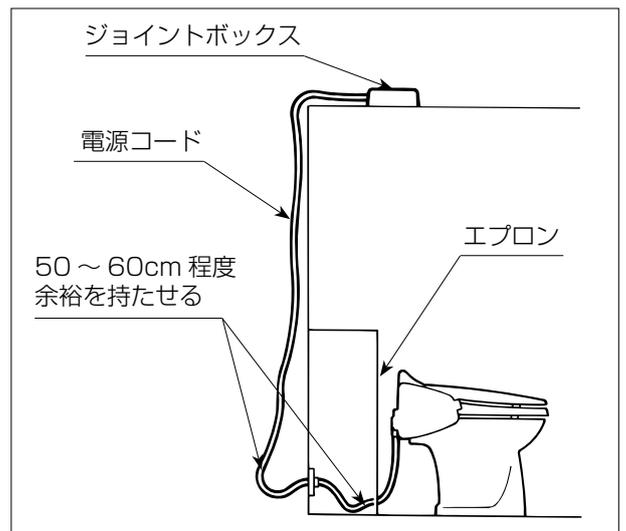
- (4) メンテナンスをしやすいように、電源コードの長さを室内・室外共に 50 ~ 60cm 程度余裕を持たせて切断します。

**警告**

電源コードをステップル等で固定しないでください。  
 ※被覆を傷め、感電・火災の原因となります。

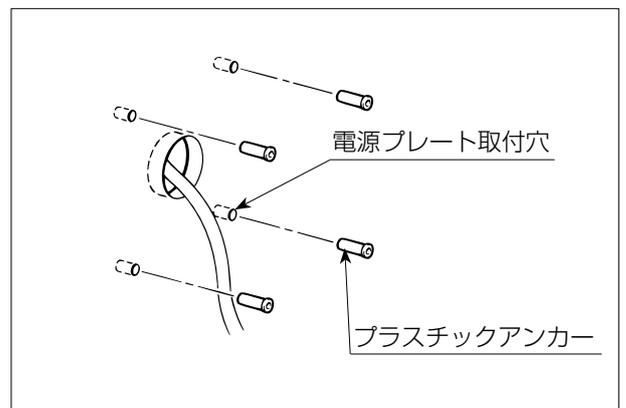


禁止

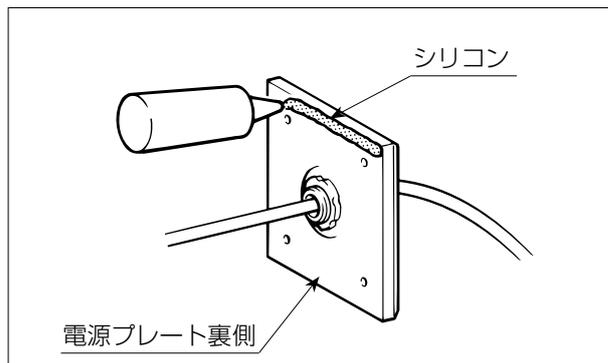


## 6 電源プレートの取付け

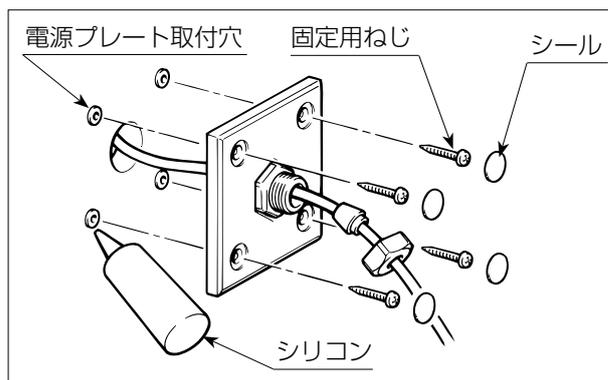
- (1) タイル壁の場合は、電源プレート取付穴にハンマー等で、プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。



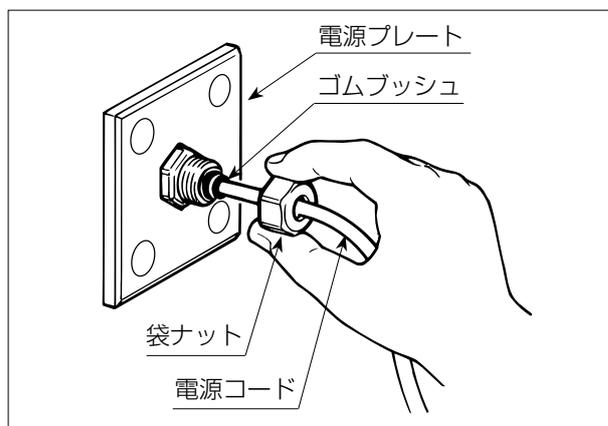
- (2) 電源プレート裏側と電源プレート取付穴にシリコンを充填して、固定用ねじ 4 本で電源プレートを固定します。



- (3) ねじの取付部分にシール 4 枚を張ります。  
 ※電源プレートの汚れをきれいにふきとってから、シールを張ってください。

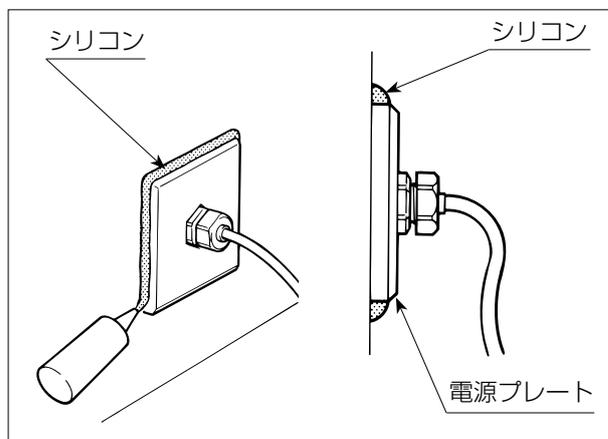


- (4) ゴムブッシュを電源プレートにはめて、袋ナットをしっかりと締め付けます。  
 ※袋ナットが傷付かないように注意して、スパナ等で締め付けてください。  
 ※締め付けた後、電源コードが抜けないことを確認してください。



**注意** 電源コードが床につかない程度 (50 ~ 60cm) に、シャワートイレ本体と電源プレート間のコード長さを調節してください。

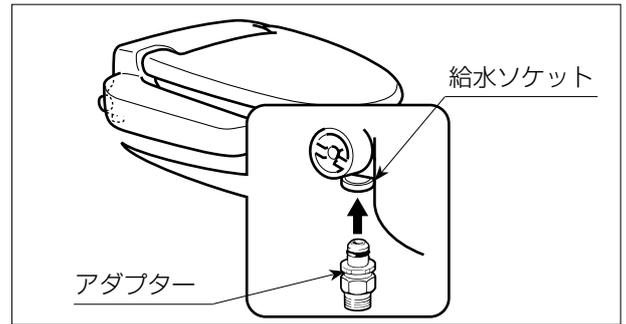
- (5) 電源プレート全周にシリコンを塗布します。  
 ※壁や電源プレートが汚れないように、テープ等でマスキングしてください。  
 ※はみ出したシリコンはきれいにふきとってください。



## 7 接続銅管の取付け

- (1) 給水ソケットにアダプター（1000-6400）を差し込みます。

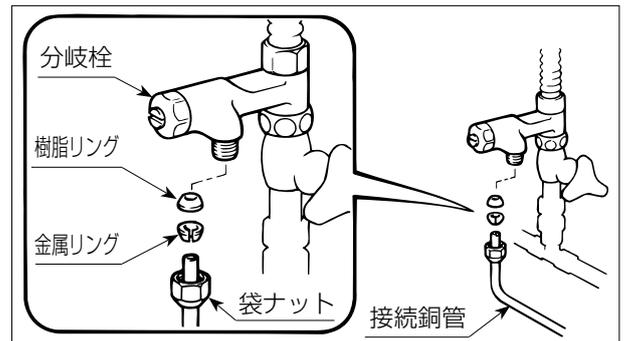
**注意** Oリングを傷つけないように注意してください。  
※ Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。



### 【CF-004（分岐栓）の場合】

- (2) 接続銅管に袋ナット、金属リング、樹脂リングを通し、ツバ部のない方を分岐栓に合わせ袋ナットで仮止めします。

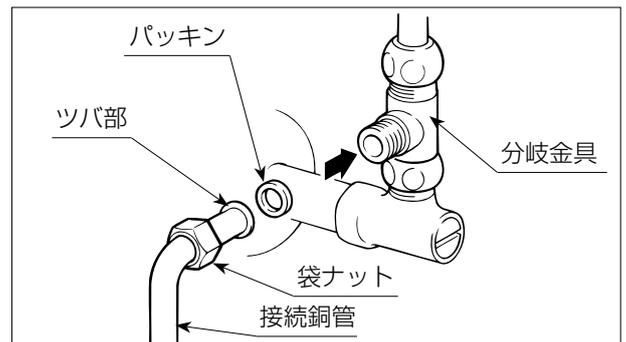
**注意** 金属リングと樹脂リングの組付順と向きに注意してください。逆に組み付けると漏水します。



### 【CF-008（分岐金具）の場合】

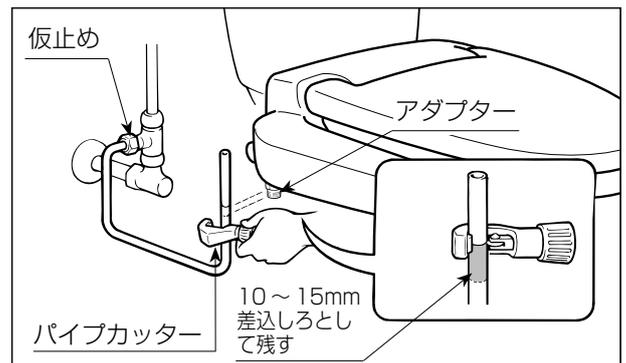
- (2) 接続銅管のツバ部を分岐金具に合わせ、パッキンを入れて袋ナットで仮止めします。

**注意** 接続銅管は必ずツバ側を分岐金具に合わせてください。



- (3) 接続銅管をアダプターの位置に合わせ、差込しるとして10～15mm程度残して切断します。

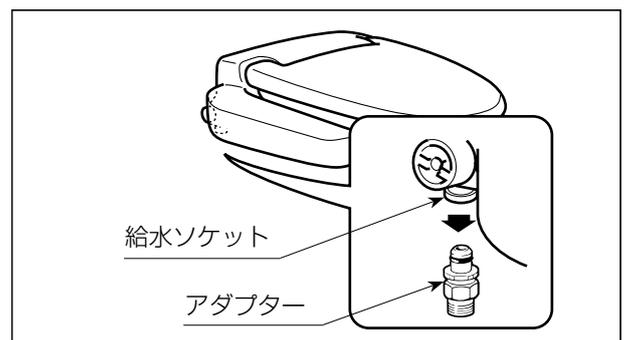
**注意** ● 接続銅管は鋭角に曲げないでください。管がつぶれて、漏水や水が通りにくくなる原因となります。  
● 接続銅管の切断は、必ずパイプカッターを使用してください。切断後は切粉を水洗いなどで完全に除去してください。



- (4) 仮止めした分岐栓側の袋ナットをはじめに手でいっぱい締め付けてから工具で3/4～1回転増締めします。  
(締付トルク 10～15 N・m {100～150kgf・cm} )

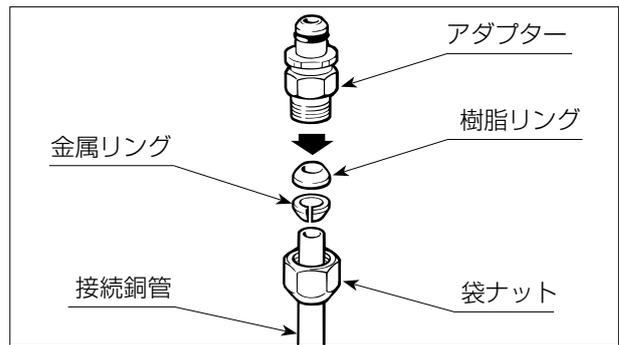
**注意** 接続銅管の接続は確実に行ってください。  
※ 袋ナットの締め付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

- (5) 給水ソケットからアダプターを取り外します。



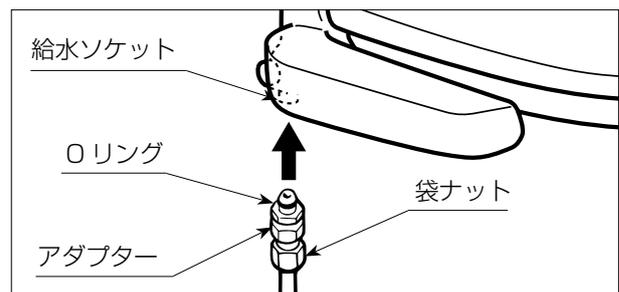
- (6) 接続銅管に給水ソケットの袋ナット、金属リング、樹脂リングを通してアダプターを差し込み、袋ナットをはじめに手でいっぱい締め付けてから工具で3/4～1回転増締めします。  
(締付トルク 10～15 N・m {100～150kgf・cm} )

**注意** 金属リングと樹脂リングの組付順と向きに注意してください。逆に組み付けると漏水します。



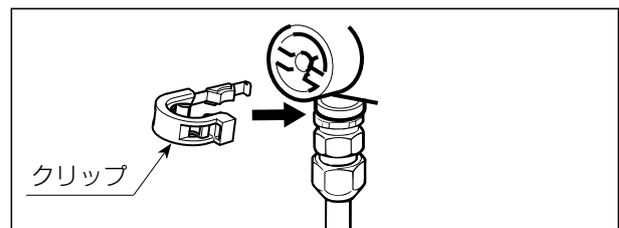
- (7) 給水ソケットにアダプターを差し込みます。

**注意** Oリングを傷つけないように注意してください。  
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。



- (8) クリップを給水ソケットとアダプターに差し込みます。

※クリップに方向性はありません。



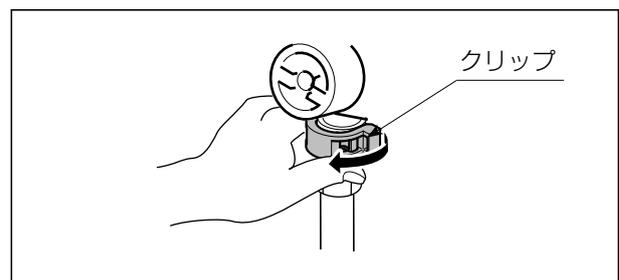
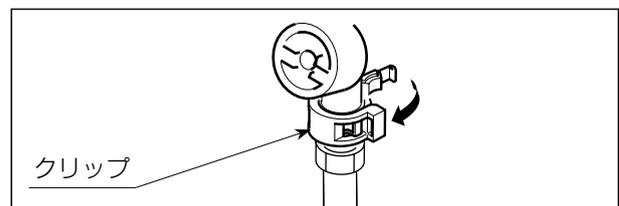
- (9) クリップを折り曲げ、給水ソケットとアダプターを確実に固定します。

※クリップの外しかたは23ページの「温水タンク内の水抜き」を参照してください。

取付後、クリップを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。(きちんとはまっている場合は回ります。)

また、接続銅管を軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

**注意** ●クリップは確実にはめ込んでください。  
※きちんとはまっていないと漏水します。  
●クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。  
※きちんとはまっていないと漏水します。

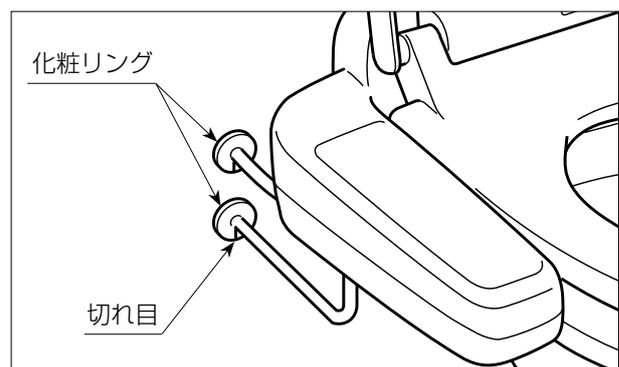


## 8 化粧リングの取付け

化粧リング裏側のシールをはがし、エプロンの貫通穴(電源コード用、接続銅管用)に張り付けます。

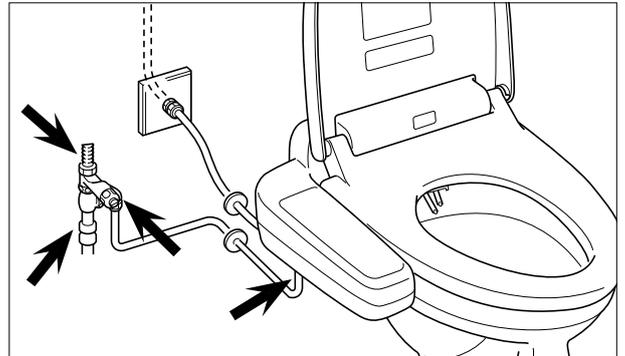
※化粧リングはエプロンの汚れを、きれいにふきとってから張ってください。

※化粧リングの切れ目を見えにくい位置(下側)にして張ってください。



## 9 通水の確認

- (1) ロータンク止水栓を反時計回りに回して開きます。
- (2) 各接続部に漏水がないことを確認します。(矢印部)  
※漏水する場合は、ナットを締め直すか、再組付けしてください。
- (3) カウンターエプロンの点検口を取り付けます。



## 10 電源コードの接続

- (1) 電源コードのアース線(緑色)、および電源線(白色、黒色)をジョイントボックスの近くまで配線します。
- (2) 天井点検口を閉めます。

**注意** 電源ケーブルを接続する場合は、同じ色どうしを接続してください。  
そのとき、コードの先端は必ず接続端子を使用して接続してください。



### ⚠ 警告

電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が正しく施工してください。  
※ 感電・火災の恐れがあります。



指示実行

漏電遮断器を確実に取り付けてください。  
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。  
※ 漏電遮断器の取付けは、電気工事店にご相談ください。



指示実行

電源線・アース線・スイッチ配線および電気機器配線の結線部は、必ずジョイントボックス内におさめてください。  
※ほこり等により火災の原因になります。



指示実行

電源線・アース線やリモコンコードの配線は、照明器具や暖房機等の熱器具から離してください。  
※ 器具の熱で配線が溶断し、火災・漏電の原因になります。



指示実行

### ⚠ 警告

交流 100V 以外では使用しないでください。  
※ 火災の原因になります。



指示実行

確実にアースを接続してください。  
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。  
※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。



アース接続

機器用配線および屋内配線の電線相互の接続は、確実に行ってください。  
※感電・火災・ケガの原因になります。



指示実行

### ⚠ 注意

交流 100V 以外では使用しないでください。  
※ 火災の原因になります。

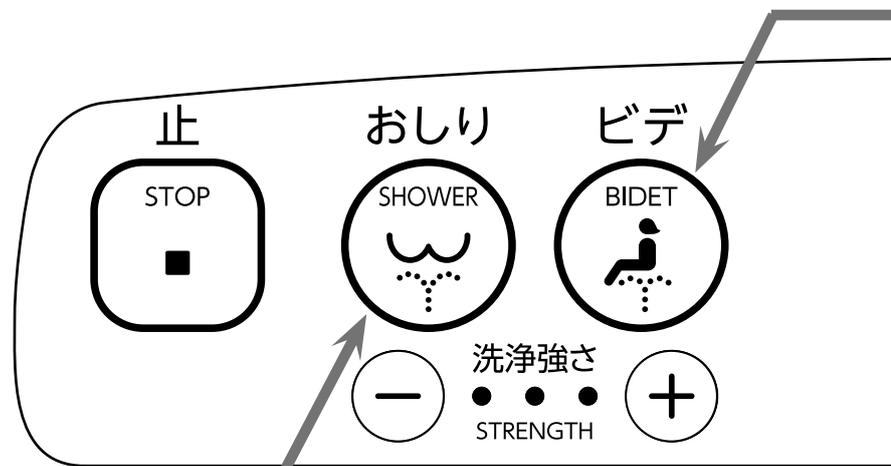
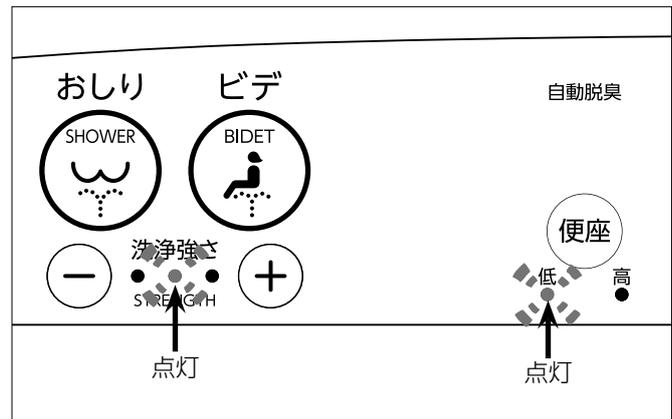


禁止

# 試運転

## 1 電源の確認

- (1) 漏電遮断器を「入」にします。
- (2) 便座の表示ランプ「低」と洗浄強さランプ「中」が点灯していることを確認します。



## 2 おしり洗浄（温水）の確認

### ●脱臭付の場合

着座センサーが紙で覆われていることを確認してください。

※ 紙が貼っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。

着座センサー窓を覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。

※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭は、便座に座っていないと作動しません。

- (1) おしりスイッチを押し、洗浄強さを強にします。  
このとき、シャワーが噴出しますので、周囲に飛び散らないように手の平で受けてください。  
タンクが満水となり、シャワーが出るまで1～2分程かかります。シャワーは、セルフストップ機能によって1分後（脱臭無）または2分後（脱臭付）に自動的に停止します。したがってシャワーが出てくるまで再度スイッチを押してください。
- (2) 洗浄強さスイッチを押してシャワーの洗浄強さが変わることを確認します。
- (3) 止スイッチを押すとおしり洗浄が停止します。
- (4) 約15分待ち、再度おしりスイッチを押してシャワーが温かいことを確認します。

### ③ ビデ洗浄の確認

- (1) ビデスイッチを押します。ビデ用ノズルが伸びておしり洗浄よりも約 25mm 前にシャワーが噴出します。
- (2) 洗浄強さスイッチを押してシャワーの洗浄強さが変わることを確認します。
- (3) 止スイッチを押すとビデ洗浄が停止します。

自動脱臭

便座

低 ● 高 ●

### ④ 暖房便座の確認

操作部の便座スイッチを押して「低」⇒「高」⇒「低」と切り替わることを確認してから「高」に切り替え、約 15 分待ち、便座が暖かいことを確認します。

※このシャワートイレは、温水が適温になってから便座ヒーターに通電されるため、従来のシャワートイレに比べると便座が暖まるまで、若干時間がかかります。

### ⑤ 脱臭の確認〈脱臭付の場合〉

着座センサーを手や布で覆って、ファンの作動音がすることを確認します。

#### ⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず分岐栓（止水栓）を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。



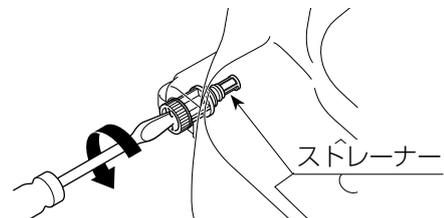
指示実行

※漏水し、室内浸水の原因になります。

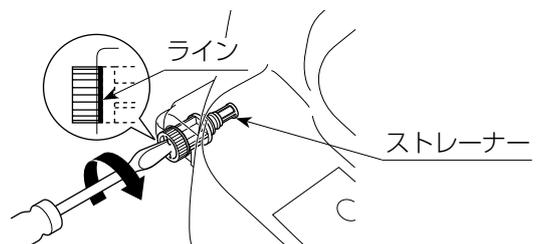
### ストレーナーの掃除

ストレーナーにゴミ等が詰まると、適正な性能が得られなくなります。掃除をする場合は以下の手順で行ってください。

- (1) 点検口を開け、カウンター内の分岐栓（止水栓）の止水部を閉めます。
- (2) 本体左側のストレーナーを外し、掃除します。  
このとき、少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。



- (3) ストレーナーをラインが本体に隠れるまでしっかり締め、止水部を開けます。



# 施工後の確認

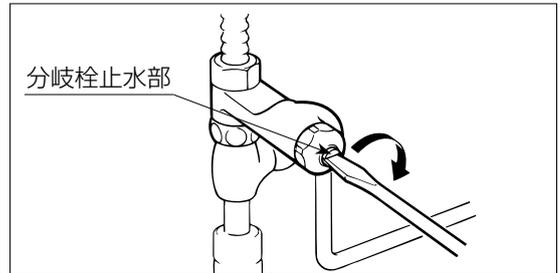
施工後、シャワートイレにキズが付いていないことを確認して、シャワートイレやユニット内を清掃してください。

また施工後、長期間使用しない場合は、下記の要領で必要箇所の水を抜いてください。

※温水タンク内の水が汚れたり、冬期には凍結して破損する恐れがあります。

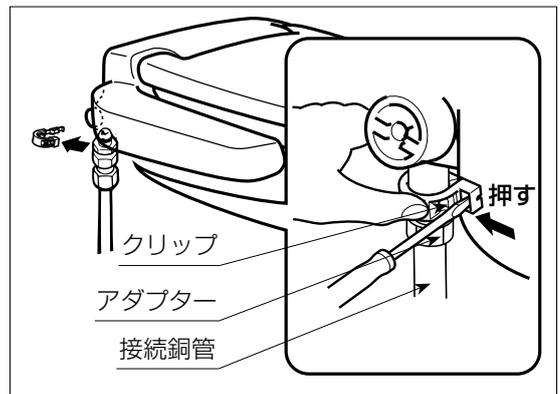
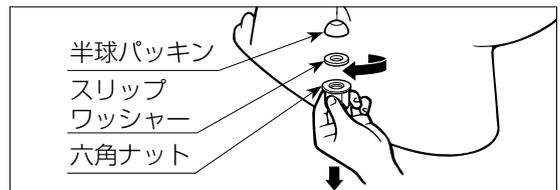
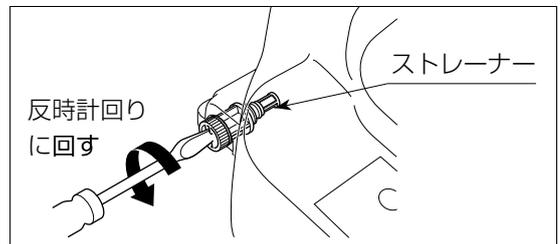
## 1 分岐栓の止水

- (1) カウンター点検口を開けます。
- (2) 分岐栓（止水栓）の止水部をしっかりと閉めます。
- (3) カウンター点検口を閉めます。



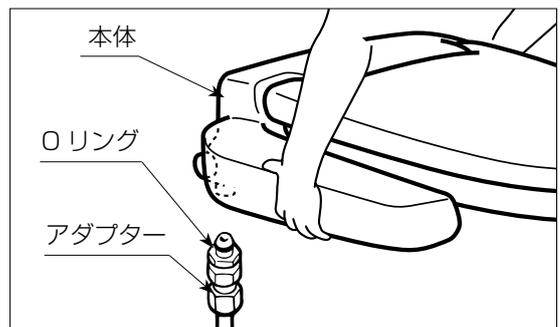
## 2 温水タンク内の水抜き

- (1) 漏電遮断器を「切」にします。
- (2) ストレーナーの下に洗面器を置き、ストレーナーを回して外します。
- (3) 半球パッキン、スリップワッシャー、六角ナットを取付ボルトから外します。
- (4) 接続銅管のアダプターからクリップを外します。クリップを外す際は、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように押すようにして外してください。



- (5) 本体を静かに垂直に持ち上げ、便器から外します。

**注意** アダプターのOリングを傷つけないように注意してください。  
※ Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。



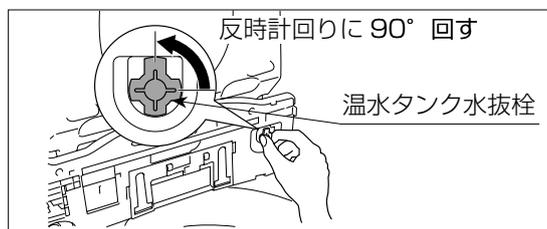
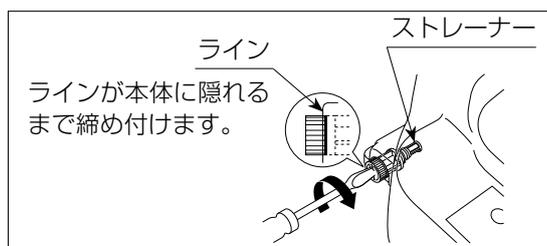
(6) 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体内の水を抜きます。

(7) 水抜き完了後、ストレーナーを工具で確実に締め付けます。

**注意** このシャワートイレは分岐栓、給水ソケットに水抜き栓がないため、接続銅管や本体内部の水を完全に抜くことはできません。

### ⚠ 注意

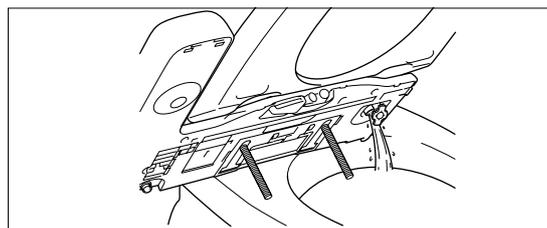
- ストレーナーを外すときは、必ず分岐栓（止水栓）を閉めてください。
  - ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
- ※漏水し、室内浸水の原因になります。



(8) 本体底面にある水抜き栓を反時計回りに90度回してゆるめます。

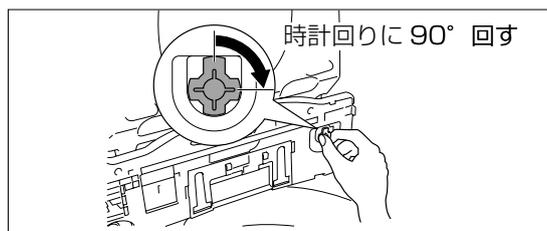
(9) 水抜き栓を引き出し、本体を手前に傾けて温水タンクから水を完全に抜きます。

**注意** 本体を立てたままの状態の水を抜かないでください。  
※水が本体内部に進入して故障の原因になります。



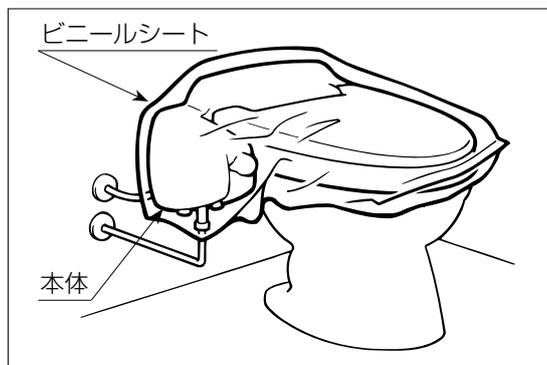
(10) 水抜き完了後、水抜き栓を時計回りに90度回して締め付けます。

(11) シャワートイレ本体を便器に取り付けます。  
(13、14、19 ページ参照)



## 3 本体の保護

ユニットバスの工事が完了するまで、キズが付かないように、便座便フタ側から梱包内のビニールシートの中に入れて、本体をカバーしておきます。



●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2608）を手配して貼り付ける。

※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

**施工業者さまへ**

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録の願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録の願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

**株式会社 LIXIL**

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

---

販売店